

大会申し合わせ事項

1. 団体戦の予選リーグ戦は11ポイント3ゲームズマッチ(2ゲーム先取)、決勝トーナメントは11ポイント5ゲームズマッチ(3ゲーム先取)とし、原則として消化試合・ゲームは行わない。また、団体戦において、同一選手が同じ試合の中でシングルスに二度出場することはできない。
2. 個人戦は11ポイント5ゲームズマッチ(3ゲーム先取)とし、原則として消化ゲームは行わない。
3. 日本卓球ルールにおいてダブルスは、プレーヤーは交互に打球することになっているが、本大会は、原則としてAグループを除き、試合前に相手チーム及び審判に申告すれば下記の方法でプレイすることができる。

センターラインの延長線を踏み越えずにプレイすれば、1人が続けて打球することが可能。
4. 車椅子プレーヤーと立位プレーヤーのシングルスにおけるサービスについては、レシーブ側のルールに合わせる。
5. 審判は原則として、団体戦予選リーグはリーグ内での相互審判とする。団体戦決勝トーナメント、個人戦トーナメントは敗者審判とする。審判ができない場合は本部へ申し出ること。
6. ユニフォームは、対戦相手にとって不利にならない限り、JTТА 公認以外のものを着用しても構わない。ただし、使用球(白)と同色は避けること。また、ダブルスにおいてもユニフォームを揃えなくてもよいこととする。